OMRON

仕 様 書

品 名 SNMP／Webカード

形式名 SC20G2

オムロン株式会社
電子機器事業本部

OMRON

品名 SNMP／Webカード	形式 SC20G2	貴社仕様書番号

用途

添付図面

・なし

特記事項

・本製品は日本国内および中国向け仕様です。機器に組み込んで輸出される場合等は、当社にお問い合わせください。
・本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の認可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
・電源の電圧や周波数が違う場合が多く、動作異常、故障、火災などの原因になることがあります。

無償保証期間

購入日より起算して3年間とする。
規定の詳細は、後述する「保証契約約款」を参照のこと。

仕様書の有効期間

本仕様書は発行より 1 年を経過して、受領またはご発注のない場合は無効とさせていただきます。

仕様書変更経歴

仕様書の記載内容が変更された場合には、改正符号（アルファベット）を記入し、仕様書番号の末尾に改正符号と同じ符号をつけて処理しております。なお本仕様書の記載内容に影響を与えない範囲での変更を行うことがありますので、予めご了承下さい。

符 号	年 月 日	改 正 内 容	印
A	2014/8/21	初版リリース	金

目 次

この仕様書は SNMP/Web カード SC20G2 について記載しています。

１． 製品の用途 4

２． 使用制限 4

３．機器の概要 5

４．仕 様 7

５．各部の名称 9

６．機能 10

７．同梱品 31

８．保証契約約款 32

９．安全上のご注意 34

１． 製品の用途

1) 本製品はパソコンサーバーなどのOA機器に使用することを目的に設計・製造されています。
以下のような、極めて高い信頼性や安全性が要求される用途には使用しないでください。
- 人命に直接関わる医療用機器
- 人身の損傷に至る可能性のある用途。(航空機、船舶、鉄道、エレベータなどの運行、運転、制御などに直接関連する用途
- 車載、船舶など常に振動が加わる可能性がある用途。
- 故障すると社会的、公共的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途。(主要な電子計算機システム、幹線通信機器、公共の交通システムなど)
- これらに準ずる機器

2) 人の安全に関与し、また公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備など、運用維持、管理について特別な配慮が必要となります。

3) 特に信頼性の要求される重要なシステム等への使用に際しては、当社カスタマサポートセンタへご相談ください。

4) 本製品は日本国内および中国向け仕様です。機器に組み込んで輸出される場合等は、当社にお問い合わせください。
- 本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の認可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
- 電源の電圧や周波数が違う場合が多く、故障や火災を起こすことがあります。
- 入力電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。
- CEマーキング、VCCI クラスAには適合しておりますが、その他の海外の安全規格や電磁波障害などの規格／規制には対応していません。

２． 使用制限

1) 本仕様書に記載の使用条件・環境などを遵守してください。

2) 装置の改造・加工はおこなわないでください。

３．機器の概要

・ 対応型式
本製品は、型式BN50S/BN75S/BN100S/BN150S/BN220S/BN300S、BN100XR/BN150XR/BN240XR、BU75RW/BU100RW/BU200RW/BU300RW、BU50SW/BU75SW/BU100SW/BU150SW、BU1002SW/BU3002SW、BU60RE/BU100RE、BN75R/BN150R/BN300R、BN50T/BN75T/BN100T/BN150T/BN220T/BN300T、およびBU1002RW/BU2002RWL/BU3002RWL/BU5002RWLのオムロン製UPSのスロットに挿入することによりネットワーク接続を可能にする装置です。

・ 機能特長
本製品をUPSに挿入することにより、ネットワーク経由での無停電電源装置(UPS)からのステータス取得および無停電電源装置(UPS)へのコマンド発行を可能にします。 本製品を無停電電源装置(UPS)に挿入することにより、シリアルポートを搭載しないパソコンからでも無停電電源装置(UPS)管理できます。

・ シャットダウンソフトのご提供
本製品には、Windows、Linux、Mac、Unix、VMwareのシャットダウンソフトが同梱されています。（最新の情報は当社ホームページをご覧ください。）
設定により以下の場合、シャットダウンを行なうことが可能です。
・主電源系統がダウンした場合
・無停電電源装置(UPS)のバッテリが低下した場合
・無停電電源装置(UPS)の接続容量がオーバした場合
・無停電電源装置(UPS)の温度が上昇した場合
シャットダウンソフトによって、スケジュール運転を行なうことができます。
シャットダウンソフトによって、コンピュータを安全に停止できます。

・ シャットダウンソフトのライセンスに関して
本製品は、ネットワーク経由でシャットダウンを行なう複数台のコンピュータにインストールしてご使用いただけます。

・ UPS エラーの常時通知機能（SC20G2 の新機能）
UPSに異常状態が発生した場合にSNMP trap， Syslog， Mail， Web表示などを通じて常時通知することができます。

・ セキュリティ機能を強化
HTTP、SNMPv1以外に、HTTPS、SNMPv3にも対応しています。
(注意)HTTPSのアクセスは、Open SSL Ver. 2.0でアクセスできます。
一部のブラウザソフト(Firefoxなど)ではHTTPSでのアクセスはできません。

・ メール通知機能
電源異常等の発生時にあらかじめ指定したアドレス宛に通知メールを送信できます。

・ ログ機能
無停電電源装置(UPS)の電源異常、電源の状態、バッテリ状態などを製品内のフラッシュメモリに保存できます。
Syslogに対応しています。

・ 自動シャットダウン機能
同梱されたシャットダウンソフトをインストールすることにより、管理者があらかじめプログラムした所定のシャットダウンあるいは重大な電源異常が発生した場合のシャットダウンが自動的に実行されます。

・ Wake ON LAN 対応機能
Wake ON LAN機能を装備しているクラアイントPCのMACアドレスを最大32台まで登録しておくことにより、無停電電源装置(UPS)再起動時にWake ON LAN信号によってすべてのクライアントPCを一度に再起動させることができます。

・ 無停電電源装置(UPS)の標準 MIB(RFC1628)および独自 MIB (swc mib)を装備

・ JAVA アプレットを使用し、電源の状態をモニタ
グラフ表示によって、電源の状態をビジュアルに確認できます。

・ スクリプトシャットダウン
自動シャットダウンソフトを使用せず、スクリプトを組み込むことで、ネットワーク経由でコンピュータをシャットダウンできます。

・ 死活監視
無停電電源装置(UPS)に接続されている機器をネットワーク経由で監視し、異常時はUPSの出力を停止/開始できます。

・ CO2 設定
無停電電源装置(UPS)に接続されている機器(全体)の二酸化炭素排出量を算出した結果を表示します。

4．仕　様

1）SC20G2 仕様

LANポート	10/100Mビット
ネットワークプロトコル	SNMP v1/v3, HTTP, HTTPS, SSHv2, ARP, RARP, TFTP, TCP/IP, UDP, Telnet, SNTP, SMTP, DHCP, BOOTP, IPv4
その他の通信経路	シリアル接続非同期方式(設定のみ)
制御可能なコンピュータ数	最大32台（連携シャットダウン有効時はスレーブUPSも含む）
サポートMIB	UPSMIB(RFC1628) 独自MIB(swc.mib)
使用温度	0～40℃
使用湿度	10～80％
対応UPS	BN50S/BN75S/BN100S/BN150S/BN220S/BN300S、 BN100XR/BN150XR/BN240XR、 BU75RW/BU100RW/BU200RW/BU300RW、 BU50SW/BU75SW/BU100SW/BU150SW、BU1002SW/BU3002SW、 BU60RE/BU100RE、 BN75R/BN150R/BN300R、 BN50T/BN75T/BN100T/BN150T/BN220T/BN300T、 BU1002RW/BU2002RWL/BU3002RWL/BU5002RWL
消費電力	最大3W
MIB対応	無停電電源装置(UPS用)MIB（RFC1628） SNMP/Webカード用MIB
本体外形寸法	60(W)×130(D)×18.2(H) mm
本体重量	約70g
梱包寸法	W233xD161xH60(mm)
梱包重量	約400g
規格	VCCI　Class　A、CE
その他	リアルタイムクロック搭載

・DIPスイッチの動作状態

SW1	SW2	動作状態
ON	ON	未使用
ON	OFF	未使用
OFF	ON	未使用
OFF	OFF	操作モード

・LEDの動作状態

ポート	緑	黄	動作状態
LAN	点滅(1 秒)	OFF	100Mbps イーサネット・トラフィック
	OFF	点滅(1 秒)	10Mbps イーサネット・トラフィック
	OFF	OFF	イーサネット切断
シリアル	ON	点滅(1-3 秒)	RS-232 ポート・アクティブ
	OFF	点滅(1 秒)	シリアル・アップグレード・モード
	交互に点滅	交互に点滅	自動診断モード
	ON	ON	ハードウェア・エラー

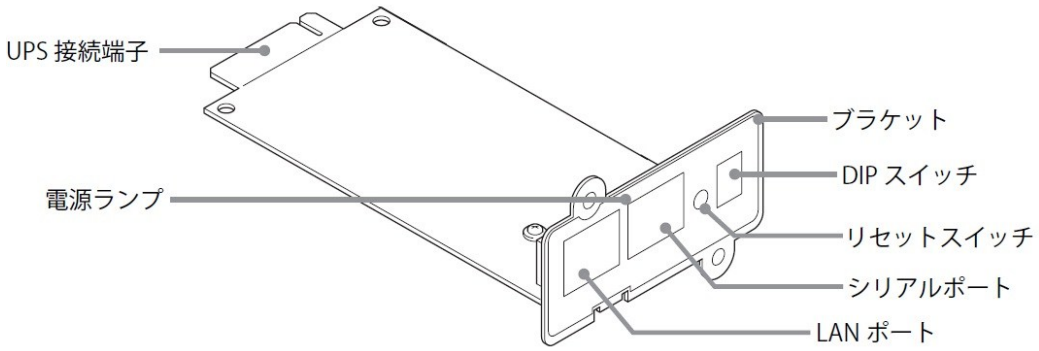
2) 自動シャットダウンソフトウェアについて

本製品に同梱の自動シャットダウンソフト PowerAct Pro Slave Agent をインストールすることにより、電源異常時やスケジュールによる自動シャットダウンが可能となります。

インストール方法及び動作条件については、自動シャットダウンソフトの取扱説明書をご参照ください。

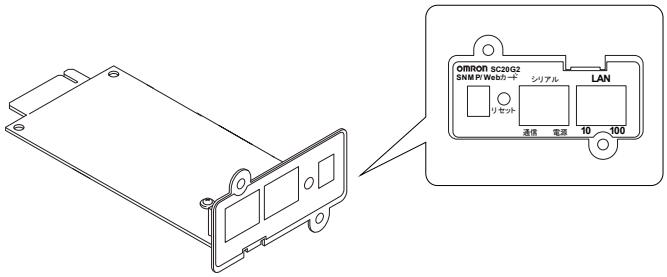
最新版の PowerAct Pro Slave Agent 及び対応 OS は当社ホームページ(http://www.omron.co.jp/ese/ups/support/download/download.html)からダウンロードおよび確認する事が可能です。

５．各部の名称

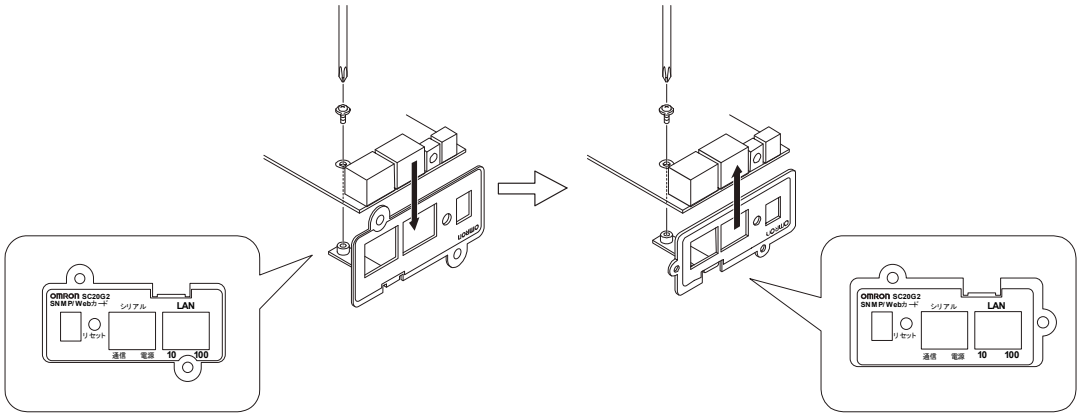


● 無停電電源装置(UPS)型式によりスロットのネジ穴位置が異なります。　必要によりブラケットの交換を行なってください。

BU-SW シリーズ、BU-RW シリーズ、BN-S シリーズ、BU-RE シリーズ、BN-R シリーズ、BN-T シリーズに設置する場合は、交換不要です。



● 無停電電源装置(UPS)が、BN100XR/BN150XR/BN240XR の場合、付属の専用ブラケットに交換してください。



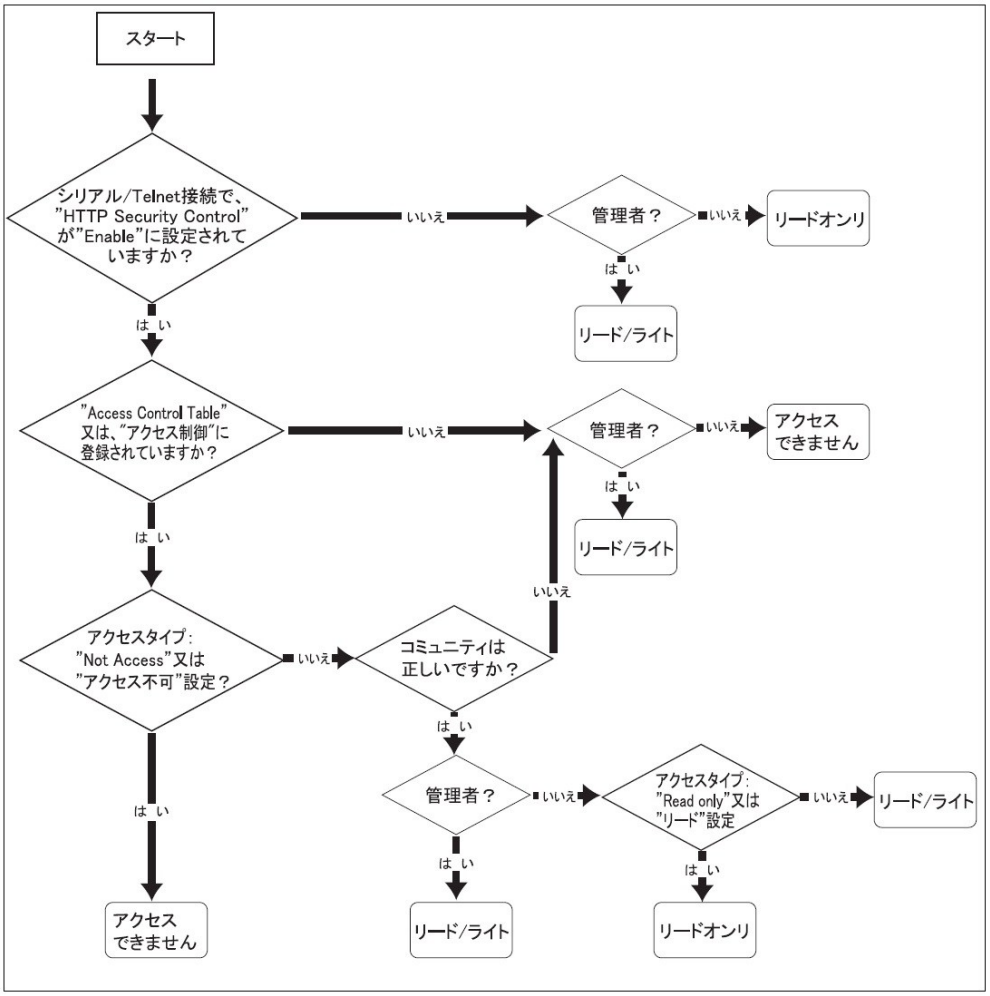
６．機能

1）セキュリティの設定に関して

本製品では設定によりセキュリティレベル(カードへのアクセスの許容レベル)を変更することが可能です。

①	ユーザ名、パスワード、コミュニティ ユーザ名、パスワードの初期値は以下の通りです。 ユーザ名：OMRON パスワード：admin SNMPのコミュニティは以下の通りです。 リード：public リード／ライト：admin パスワードとリード／ライトのコミュニティは共通です。
②	セキュリティ設定の概要 セキュリティレベルを設定する場合、まずはじめにTelnetまたはシリアル接続で設定メニュー（1→2→8→2→3）から“HTTP Security Control”を“Enable”に設定し、その後Telnet／シリアル接続では”Access Control Table”、Web画面では“アクセス制御”を使用して接続を許可するIPアドレスを設定します。

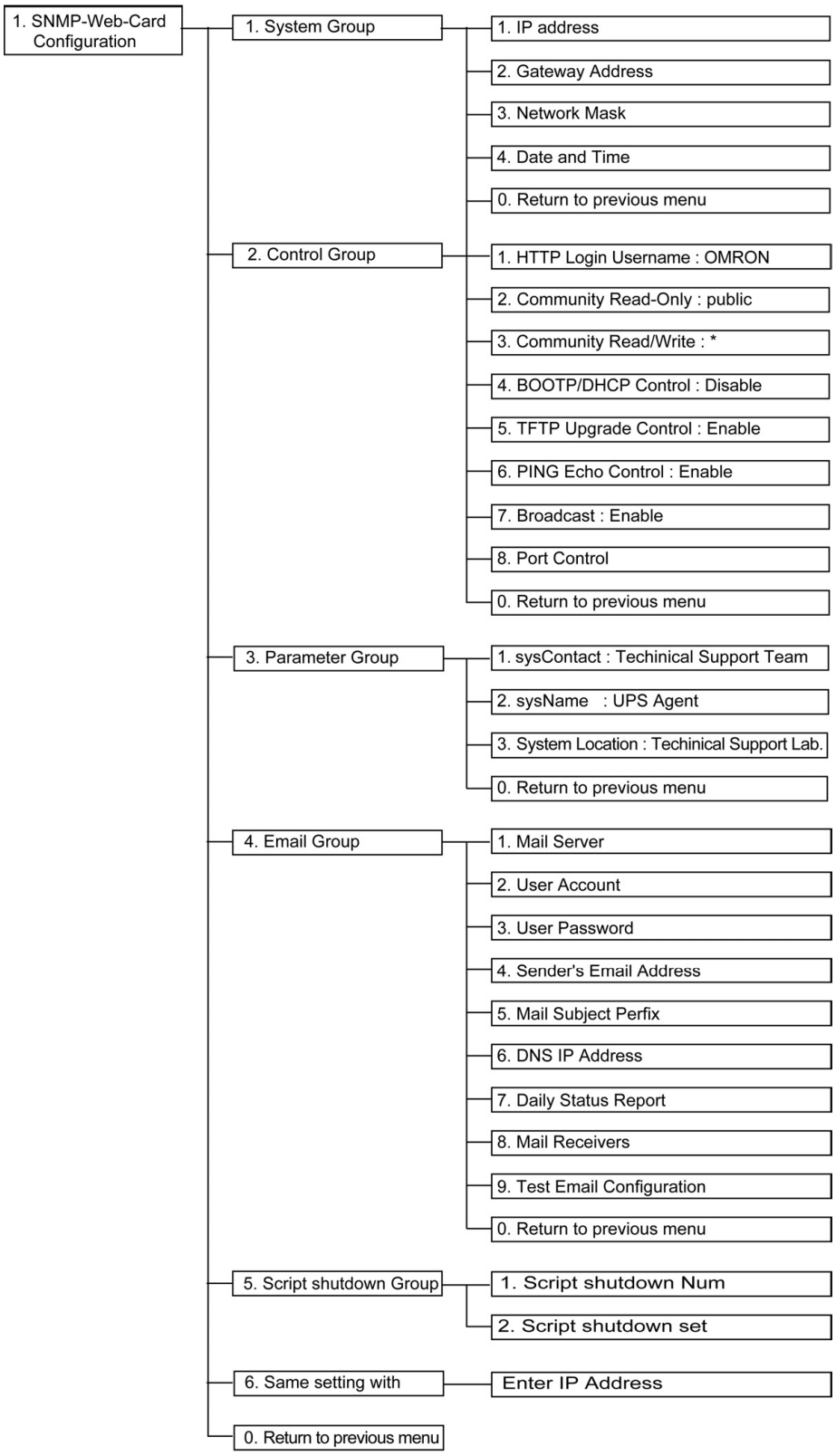
各設定の関連は下の図を参照してください。



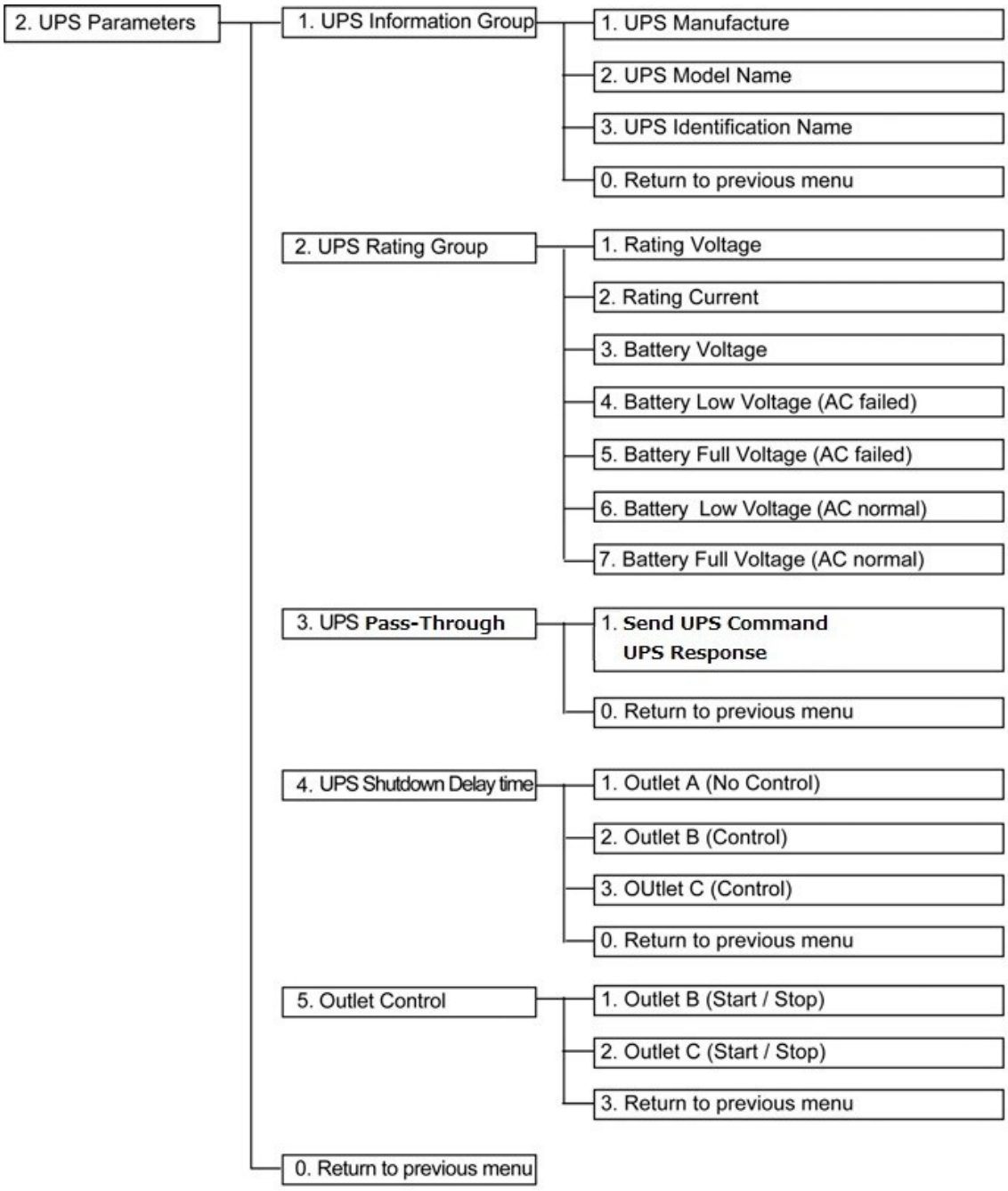
2)シリアルポート／Telnet経由での設定内容

以下のメニュー構成になっています。シャットダウン関連の機能を除き、ほとんどの機能をシリアルポート経由で設定することが可能です。設定を行なう場合は必ずシリアル接続またはTelnetで行なう必要があります。

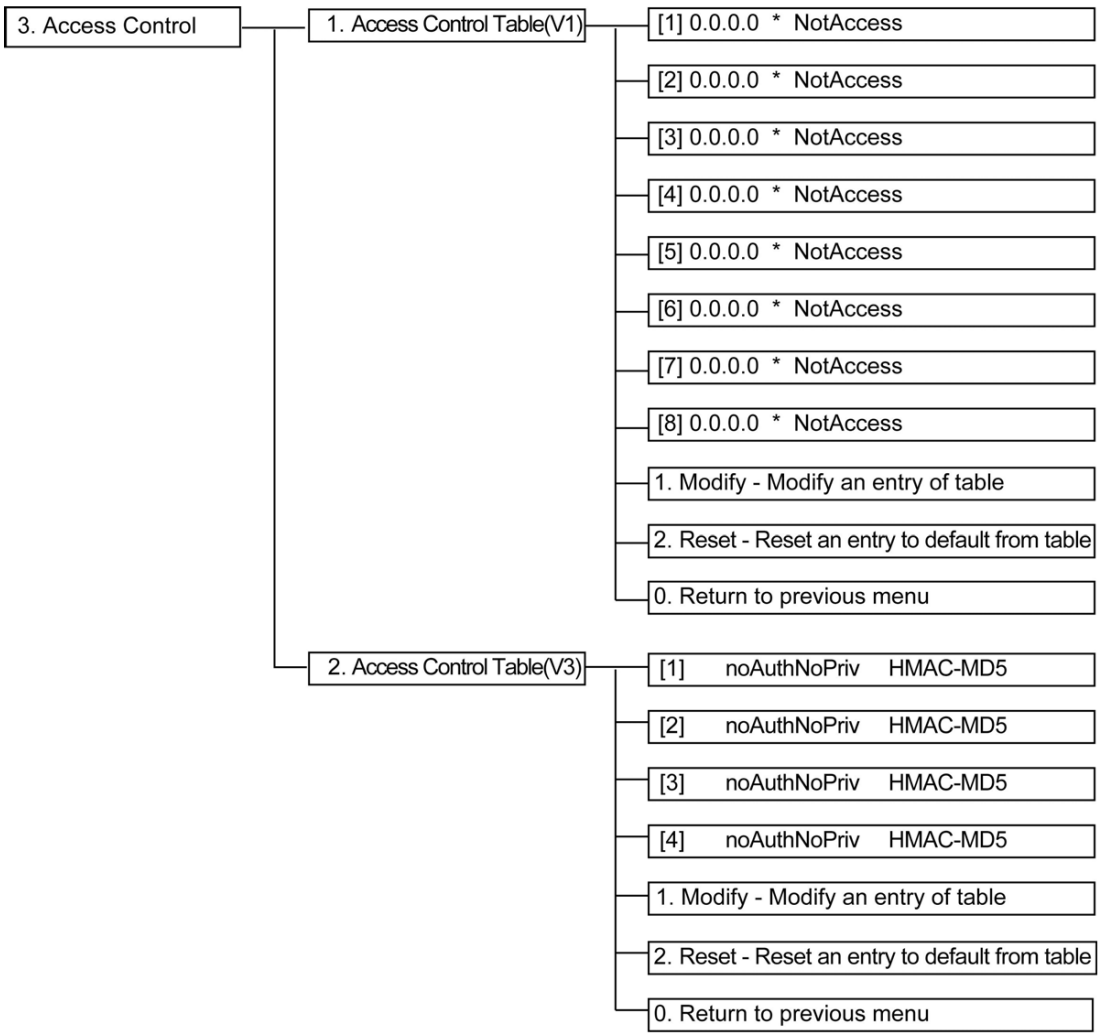
① SNMP-Web-Card Configuration



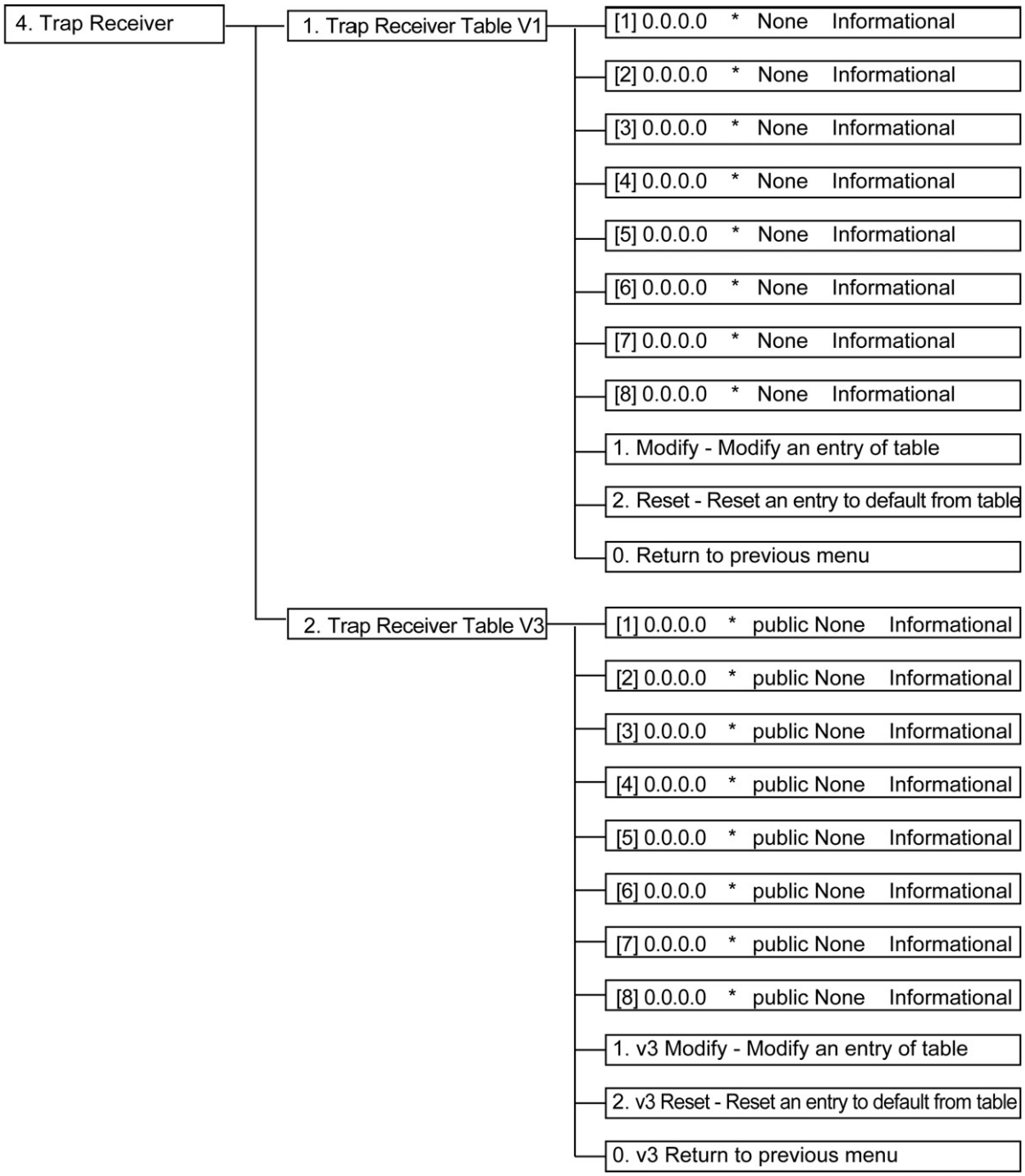
② UPS Parameters


2. UPS Parameters
1. UPS Information Group
1. UPS Manufacture
2. UPS Model Name
3. UPS Identification Name
0. Return to previous menu
2. UPS Rating Group
1. Rating Voltage
2. Rating Current
3. Battery Voltage
4. Battery Low Voltage (AC failed)
5. Battery Full Voltage (AC failed)
6. Battery Low Voltage (AC normal)
7. Battery Full Voltage (AC normal)
3. UPS Pass-Through
1. Send UPS Command
UPS Response
0. Return to previous menu
4. UPS Shutdown Delay time
1. Outlet A (No Control)
2. Outlet B (Control)
3. OUtlet C (Control)
0. Return to previous menu
5. Outlet Control
1. Outlet B (Start / Stop)
2. Outlet C (Start / Stop)
3. Return to previous menu
0. Return to previous menu

③ Access Control Table


3. Access Control
1. Access Control Table(V1)
[1] 0.0.0.0 * NotAccess
[2] 0.0.0.0 * NotAccess
[3] 0.0.0.0 * NotAccess
[4] 0.0.0.0 * NotAccess
[5] 0.0.0.0 * NotAccess
[6] 0.0.0.0 * NotAccess
[7] 0.0.0.0 * NotAccess
[8] 0.0.0.0 * NotAccess
1. Modify - Modify an entry of table
2. Reset - Reset an entry to default from table
0. Return to previous menu
2. Access Control Table(V3)
[1] noAuthNoPriv HMAC-MD5
[2] noAuthNoPriv HMAC-MD5
[3] noAuthNoPriv HMAC-MD5
[4] noAuthNoPriv HMAC-MD5
1. Modify - Modify an entry of table
2. Reset - Reset an entry to default from table
0. Return to previous menu

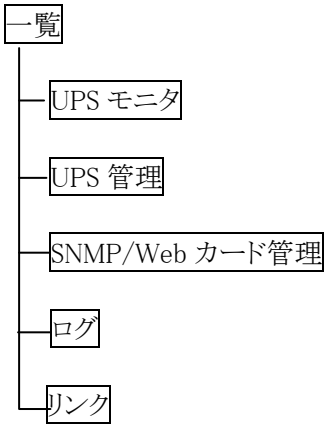
④ Trap Receiver Table


4. Trap Receiver
1. Trap Receiver Table V1
[1] 0.0.0.0 * None Informational
[2] 0.0.0.0 * None Informational
[3] 0.0.0.0 * None Informational
[4] 0.0.0.0 * None Informational
[5] 0.0.0.0 * None Informational
[6] 0.0.0.0 * None Informational
[7] 0.0.0.0 * None Informational
[8] 0.0.0.0 * None Informational
1. Modify - Modify an entry of table
2. Reset - Reset an entry to default from table
0. Return to previous menu
2. Trap Receiver Table V3
[1] 0.0.0.0 * public None Informational
[2] 0.0.0.0 * public None Informational
[3] 0.0.0.0 * public None Informational
[4] 0.0.0.0 * public None Informational
[5] 0.0.0.0 * public None Informational
[6] 0.0.0.0 * public None Informational
[7] 0.0.0.0 * public None Informational
[8] 0.0.0.0 * public None Informational
1. v3 Modify - Modify an entry of table
2. v3 Reset - Reset an entry to default from table
0. v3 Return to previous menu

⑤ Main Window
⑥ UPS Information Window
⑦ Reset Configuration To Default
⑧ Restart Agent
⓪ Exit

3)Web ブラウザからの管理メニュー

管理メニュー画面は以下の階層構造になっています。



●[UPSモニタ] メニュー

[メインページ]メニュー

① UPS型式

無停電電源装置(UPS)の型式を表示します。 例: BN100S等

② UPS状態

無停電電源装置(UPS)の現在の動作状態を以下の通り表示します。

・商用運転中:入力電源状態が正常で、正常に運転している状態です。

・スタンバイ中:シャットダウン後の状態です。入力電源は正常です。

・UPS電源Off:UPSの電源が切れている状態です。

・バイパス運転中:バイパス動作で出力している状態です(常時インバータタイプのUPSのみ)。

・バックアップ中:入力電源障害がありバックアップ動作に入っている状態です。

・テスト中:バッテリテストまたはファンクションテスト中です。

・UPS異常:無停電電源装置(UPS)に何らかの異常が検知された状態です。

・UPSが見つかりません:SNMP/Webカードが無停電電源装置(UPS)と通信できない状態です。

③ UPS内部温度

無停電電源装置(UPS)内部の温度を表示します。

④ UPSメーカ

“Omron”が表示されます。

⑤ 出力コンセントA/B/C(制御あり/なし)(秒)

無停電電源装置(UPS)の各出力の使用時間を表示します。

⑥ 入力周波数

現在の入力周波数を表示します。

⑦ 出力周波数

現在の出力周波数を表示します。

⑧ UPS給電方式

無停電電源装置(UPS)の給電方式を[常時インバータ]、[ラインインタラクティブ]、[常時商用]のいずれかで表示します。

⑨ 入力電圧

現在の入力電圧を表示します。

⑩ 出力電圧
現在の出力電圧を表示します。
⑪ 接続容量
現在の接続容量を表示します。
⑫ UPSが検出した最後の異常
UPSで発生した最後の異常状態を表示します。
⑬ 解除通知
UPSが検出した最後の異常を手動で解除します。
⑭ 次回UPSシャットダウン時間
スケジュール運転設定による、次回の無停電電源装置(UPS)電源Offの予定を表示します。
⑮ 次回UPS起動時間
スケジュール運転設定による、次回の無停電電源装置(UPS)電源Onの予定を表示します。
⑯ SNMP/Webカードファームウェア Ver
ファームウェアのバージョンです。
⑰ SNMP/Webカード日付
SNMP/Webカードのシステム日付設定を表示します。
⑱ SNMP/Webカード時刻
SNMP/Webカードのシステム時刻設定を表示します。
⑲ SNMP/Webカード動作時間
SNMP/Webカードが起動してからのトータルの動作時間を表示します。

[パラメータ]メニュー
●出力パラメータ
① 出力ステータス
出力電力の供給元を以下の状態で表示します。
[正常]、[バイパス]、[バッテリ]、[出力無し]
② 出力周波数
現在の出力周波数を表示します。
③ 出力電圧
現在の出力電圧を表示します。
④ 接続容量
現在の無停電電源装置(UPS)の接続負荷容量を“%”で表示します。
●入力パラメータ
① 入力電圧
現在の入力電圧を表示します。
② 過去1分間の最高入力電圧
現時点までの過去1分の入力電圧の最大を表示します。
③ 過去1分間の最低入力電圧
現時点までの過去1分の入力電圧の最小を表示します。
④ 入力周波数
現在の入力周波数を表示します。
●バッテリパラメータ
① バッテリ状態
バッテリの状態を以下の内容で表示します。
[正常]、[バッテリロー]、[放電中]、[バッテリ劣化]、[未接続]
② バッテリ駆動時間
バッテリ駆動を行なっている時間を表示します。
③ 残りランタイム
現在の負荷でバッテリ駆動時の持続時間を表示します。
④ 残りバッテリ容量
満充電状態に対しての現在の残りバッテリ容量を表示します。
⑤ バッテリ電圧
現在のバッテリの電圧が表示されます。

⑥ UPS内部温度
無停電電源装置(UPS)内部の温度です。
⑦ バッテリ使用開始/交換日
無停電電源装置(UPS)のバッテリを使用開始(交換)した日付です。新たにバッテリ交換を行なった場合は[SNMP/Webカード管理]－[SNMP/Webカード設定]画面で設定しなおしてください。

[UPS出力コンセント情報]メニュー
① UPS出力コンセント情報
出力コンセント別のタイムチャートが表示されます。この画面は表示のみです。

[アラームテーブル]
① 現在アクティブなアラーム数
現在アラームを鳴らしている要因数を表示します。
② 日時
各アラームが鳴動した時刻です。表示時刻はSNMP/Webカードの設定に従います。
③ 内容
アラームの鳴動要因です。過去のアラームに関しては、ログに保管されています。

[クライアントテーブル]
① 接続クライアント数
現在稼動中のクライアント数です。
② IPアドレス
クライアントのIPアドレスです。
③ コンピュータ名
クライアントのコンピュータ名です。
④ 待機時間
クライアントのシャットダウンに設定される、アプリケーションを終了させるために必要な処理時間です。シャットダウンの時間設定については、[UPS管理]－[シャットダウン設定]を参照してください。
⑤ 接続日時
クライアントがSNMP/Webカードに登録された日時を表示します。
⑥ 出力コンセント
クライアントが接続している無停電電源装置(UPS)の出力コンセントを表示します。

[エージェント自動検索]
① スター・スレーブ
マスター:SC20G2またはPowerActProのマスターエージェントをインストールしているコンピュータ名を表示します。
スレーブ:PowerActProのスレーブエージェントをインストールしているコンピュータ名を表示します。
② UPS形式
UPS形式を表示します。
③ UPS状態
UPSの状態を表示します。
④ バッテリ状態
バッテリの状態を表示します。
⑤ 通信状態
通信状態を表示します。

●[UPS 管理] メニュー

[UPS設定]
① 入力電圧
定格入力電圧です。
② 入力周波数
定格入力周波数です。
③ 出力電圧
定格出力電圧です。
④ 出力周波数

定格出力周波数です。
⑤ 出力電力(VA)
最大出力容量(VA表示)です。
⑥ 動作温度上限設定
無停電電源装置(UPS)の動作温度の上限です。無停電電源装置(UPS)の温度がこの値を超えたときにはSNMP/WebカードがUPSシャットダウンメニューの設定に従いUPSを動作させます。
⑦ 接続容量上限設定
無停電電源装置(UPS)の負荷の上限です。無停電電源装置(UPS)の接続容量がこの値を超えたときにはSNMP/WebカードがUPSシャットダウンメニューの設定に従いUPSを動作させます。
⑧ 入力電圧感度設定 (ラインインタラクティブタイプのみ)
無停電電源装置(UPS)の電圧感度を標準感度または低感度で設定します。
⑨ 出力電圧設定 (ラインインタラクティブタイプのみ)
無停電電源装置(UPS)の出力電圧を115Vまたは100Vで設定します。
⑩ ブザー
無停電電源装置(UPS)搭載のブザーの動作設定です。
⑪ ブザー機能
全てのブザー機能の有無を設定します。(UPSにより、設定できない型式もあります)

[UPS制御]
① 即時シャットダウン
無停電電源装置(UPS)の即時停止を行ないます。実行をクリック後、下段に表示された[UPS停止までの待ち時間]経過後に停止します。クライアントは直ちにシャットダウンを行ないます。
② UPS再起動
無停電電源装置(UPS)の再起動を行ないます。実行をクリック後、下段に表示された[UPS停止までの待ち時間]経過後に停止します。更に、[再起動時の電源Off時間]経過した後に無停電電源装置(UPS)が起動します。クライアントのシャットダウンは行いません。
③ UPS再起動遅延時間
再起動時のOff状態を保持する時間を設定します。
④ UPS停止までの待ち時間
実行をクリック後、無停電電源装置(UPS)停止までの遅延時間を設定します。[UPS管理]－[シャットダウン設定]画面と共通設定になります。
⑤ UPS電源ON
無停電電源装置(UPS)の停止状態を解除し、起動します。無停電電源装置(UPS)の正面パネルから手動で電源Offした場合はこの設定で起動することはできません。
⑥ ブザーテスト
直ちにブザーを約1秒鳴らします。
⑦ 出力コンセントB/C(制御あり)
無停電電源装置(UPS)の出力コンセントBおよびCの出力を制御します。
⑧ UPSコールドスタート機能
無停電電源装置(UPS)のコールドスタート機能を有効にするかを設定します。
⑨ 入力電源異常時の最大バックアップ時間
無停電電源装置(UPS)への電源入力に異常が発生した際の、UPSのバックアップ時間を設定します。

[バッテリテスト]
① バッテリ自動テスト
4 週間に 1 回のバッテリ自動テストの有無を UPS 側の設定スイッチで設定します。無効に設定すると、バッテリテストは行なわれません。
② 前回のテスト日時
前回のバッテリテストの実施日時です。
③ 前回のテスト結果
前回のバッテリテスト結果です。
[自己診断テスト]
① 自己診断テスト
テストの有無を設定します。

② 前回のテスト日時
前回のテストの実施日時です。
③ 前回のテスト結果
前回のテスト結果です。
[バックアップ時間テスト]
(ラインインタラクティブタイプのみ)
① バックアップ時間テスト
テストの有無を設定します。
② 前回のテスト日時
前回のテストの実施日時です。
③ 前回のテスト結果
前回のテスト結果です。

[テストスケジュール]
① テスト日
テスト実施日を週間で設定してください。
② テスト時刻
テスト実施時刻を設定してください。
③ テスト種別
自己診断テストを行なうかどうかを以下の中から指定してください。
・バックアップ時間テスト:バックアップ時間テストを行ないます。
・自己診断テスト:自己診断テストを行ないます。

[シャットダウン設定]
シャットダウン設定では発生イベントごとに動作(シャットダウン動作)を選択します。

[イベント]
① 入力電源異常
停電に代表される入力電源の異常です。
② バッテリロー
バッテリの充電容量低下です。
③ 接続容量オーバ
接続機器の容量が[UPS 管理]—[UPS 設定]ページの接続容量上限を越えた場合です。
④ 温度上昇
UPSの内部温度が[UPS管理]—[UPS設定]ページの動作温度上限を越えた場合です。
⑤ スケジュール/週間
週間でのスケジュールです。
⑥ スケジュール/指定日
指定日のスケジュールです。

[動作]

① 無効
何も動作しません。
② 警告
警告メッセージをクライアントに送信します。シャットダウン・停止等は行ないません。
③ クライアントシャットダウン
クライアントコンピュータにシャットダウンコマンドを送出します。
無停電電源装置(UPS)の停止は行ないません。
④ UPS停止
クライアントシャットダウンの後、無停電電源装置(UPS)停止を行ないます。
●[待機時間]
イベント発生後の待機時間を設定します。
この間は設定により警告をクライアントに出します。
待機時間経過後、設定によりシャットダウン動作に入ります。

●[初回警告]
イベント発生後、初回警告を送信するまでの時間を設定します。
●[警告間隔]
警告の送信間隔を設定します。最小値は3です。
●[UPS停止までの待ち時間]
待機時間経過後、無停電電源装置(UPS)停止までの時間です。クライアントのシャットダウンが十分可能な時間を設定してください。
●[電源復旧時の再起動]
入力電源異常で停止した場合、有効に設定すると電源が復旧した時に無停電電源装置（UPS）が再起動します。そのまま電源 OFF 状態を保持する場合は、無効に設定してください。機種によっては、変更できない場合があります。
●[電源復旧時のUPS再起動条件]
UPS再起動条件を有効にするか、無効にするかを指定します。
●[UPS再起動条件]
バッテリ容量とUPS起動遅延時間を指定します。
●[バッテリ容量(%)]
起動時に必要な充電容量を設定します。直後に停電した場合、シャットダウンに十分な容量がないと危険な為、指定容量まで充電が完了しないと起動しません。
●[UPS起動遅延時間(秒)]
無停電電源装置（UPS）が起動してから出力を開始するまでの時間を設定してください。

[連携シャットダウン]
① UPS連携シャットダウン
無停電電源装置(UPS)連携シャットダウンの有無を設定します。
② マスター/スレーブ UPS 動作
この無停電電源装置(UPS)がマスターUPS またはスレーブ UPS のどちらとして動作するかを指定します。複数台の無停電電源装置(UPS)を１つのグループとして連携して動作させることが可能ですが、マスターは１台のみです。
③ マスター/スレーブ UPS にイベント発生時の動作
いずれかの 1 台の無停電電源装置(UPS)のみにシャットダウンイベントが発生したときの動作を設定します。
④ マスター/スレーブ UPS のみシャットダウン設定に従う
設定により、マスターまたはスレーブUPSのみ停止動作に入ります。停止の際の動作はシャットダウン設定に従います。
⑤ マスターUPS、スレーブUPSともシャットダウン設定に従う
連携関係(マスター、スレーブ関係)にある無停電電源装置(UPS)全てが停止動作に入ります。いずれの場合も停止動作はシャットダウン設定に従います。
⑥ マスターUPS
マスターUPSのIPアドレスを設定します。 正しく設定されるとマスターUPSのクライアントテーブルに登録されます。

[スケジュール/週間]
① 停止日
UPS を停止する日を曜日単位で設定します。
② 停止時刻
UPSを停止する時刻を設定します。
③ 起動日
UPSを起動する日を曜日単位で設定します。
④ 起動時刻
UPSを起動する時刻を設定します。

[スケジュール/指定日]

① 停止日
UPS を停止する日を設定します。

② 停止時刻
UPSを停止する時刻を設定します。
③ 起動日
UPSを起動する日を設定します。
④ 起動時刻
UPSを起動する時刻を設定します。

●[SNMP/Webカード管理] メニュー

[日付・時刻設定]

① SNMP/Webカード日付
SNMP/Web カードのシステム日を表示します。下段の方法で設定の変更が可能です。
② SNMP/Web カード時刻
SNMP/Web カードのシステム時刻を表示します。下段の方法で設定の変更が可能です。
・コンピュータの設定と同期
SNMP/Web カードのシステム時刻をコンピュータの時刻と同期させます。[保存]を押した時点で同期を行ないます。その後定期的な同期は行いません。
・NTP サーバと同期
SNMP/Webカードのシステム時刻をNTPサーバと同期させます。[保存]を押した時点で同期を行ない、その後6時間ごとに同期を行います。

・手動設定
SNMP/Webカードのシステム時刻を手動で設定します。[保存]を押した時点で設定します。

[SNMP/Webカード設定]
① SNMP/WebカードMACアドレス
SNMP/Web カードの MAC アドレスを表示します。
② SNMP/WebカードIPアドレス
SNMP/Web カードの IP アドレスを表示・設定します。 (入力例:192.168.2.150)
③ SNMP/Web カードゲートウェイアドレス
ゲートウェイアドレスを表示・設定します。(入力例:192.168.2.1)
④ SNMP/Web カードサブネットマスク
サブネットマスクを表示・設定します。(入力例:255.255.255.0)
⑤ System Name
MIB-IIに規定されている“System Name”を表示します。必要により設定してください。
⑥ System Contact
MIB-IIに規定されている“System Contact”を表示します。必要により設定してください。
⑦ System Location
MIB-IIに規定されている“System Location”を表示します。必要により設定してください。
⑧ バッテリ使用開始/交換日
無停電電源装置(UPS)のバッテリを使用開始(交換)した日付です。新たにバッテリ交換を行なった場合は設定し直してください。
⑨ データログ取得間隔
入出力電圧、接続負荷、バッテリ容量などのログ(データログ)を記録する時間間隔です。最小値は5秒です。
⑩ 拡張データログ取得間隔
拡張データログを取得する単位時間です。拡張データログでは一定時間内での最小、最大、平均値を記録します。
⑪ SNMP/Webカードポーリング間隔
SNMP/Webカードが無停電電源装置(UPS)と通信を行いパラメータを更新する間隔です。
⑫ ページ更新設定
[無停電電源装置(UPS)動作状態一覧]、[バッテリパラメータ]、[入力パラメータ]、[出力パラメータ]、[アラームテーブル]、[クライアントテーブル]ページの更新時間を表示・設定します。
⑬ BootP/DHCPステータス

IPアドレスを取得するBootP/DHCPプロトコルの有効・無効を表示・設定します。 IPを固定で使用する場合は”無効”に設定してください。

⑭ Telnet接続
Telnet接続の有効・無効を表示・設定します。

⑮ SNMP機能
SNMPの有効・無効を表示・設定します。

⑯ SNMPバージョン
SNMP接続に使用するSNMPのバージョンを表示・設定します。

⑰ ネットワークアップグレード
ネットワーク経由のファームウェアアップグレードの有効・無効を表示・設定します。

⑱ ブロードキャスト
ブロードキャストの有効・無効を表示・設定します。自動シャットダウンソフトを使用する場合は”有効”にしてください。

[SNMP/Webカード制御]

① SNMP/Webカードを初期値
SNMP/Web カードのパラメータを工場出荷時の初期値にリセットする場合に選択してください。

② SNMP/Web カードの再起動
SNMP/Webカードのリスタートを行なう場合に選択してください。

③ 設定反映元のIPアドレス
SNMP/Webカードのパラメータを参照する機器のIPアドレスを設定してください。

[Syslog設定]

① Syslog
Syslog 機能の有効・無効を表示・設定します。

② Facility
Syslog機能のFacilityを表示・設定します。

③ Syslogサーバ
SyslogサーバのIPアドレスを表示・設定します。

④ Syslog Severityへの割り付け
SNMP/Webカード上の情報レベル”Severe/警告”、”Warning/注意”、”Informational/情報”に関してそれぞれSyslogサーバに送出する際の情報レベルを指定します。

[ポート番号設定]
カードが使用するSNMP、HTTP、Telnetなどのポート番号を表示・設定します。

[アクセス制御]

① NMS
NMS の IP アドレスを表示・設定します。0.0.0.0 の場合は、設定されていないことを表わします。
(例:192.168.7.255 が設定されている場合は、IP アドレスの 192.168.7.0 から 192.168.7.255 までの範囲が設定されたことになります。)

② コミュニティ
設定されたIPアドレスのコミュニティを設定します。

③ アクセスタイプ
アクセス不可、リード、リード/ライトの3種類から設定が可能です。

[SNMP V3 アクセス制御]
① ユーザ名
SNMPマネージャで設定したユーザ名を入力します。
※設定するセキュリティレベルによって不要の場合があります。
② パスワード
SNMPマネージャで設定したパスワードを入力します。
※設定するセキュリティレベルによって不要の場合があります。
③ セキュリティレベル
設定したユーザのセキュリティレベルを noAuthNoPriv、authNoPriv、authPriv の3種類から設定可能です。
SC20G2と通信を行なうSNMPマネージャと同一の設定にしてください。
④ 認証
認証方法を HMAC-MD5、HMAC-SHA の2種類から設定可能です。
SC20G2と通信を行なうSNMPマネージャと同一の設定にしてください。
⑤ ステータス
その項目が使用可能かどうかを表示します。

[SNMPトラップ送信先]
① NMS
トラップ送付先となっている NMS の IP アドレスです。
② コミュニティ
コミュニティです。最大 19 文字で設定が可能です。
③ トラップタイプ
送信するトラップのタイプです。以下から選択して設定します。
・無し(トラップ送信なし)、
・RFC-1628 トラップ、
・SWC トラップ(SNMP/Web カードトラップ)
④ 情報レベル
送信するトラップのレベルを以下の3項目から設定が可能です。
・Informational/情報:全てのトラップが送信されます。
・Warning/注意: 注意レベル以上のトラップが送信されます。
例)負荷が設定値を越えた場合、バッテリ駆動に切り替えた場合等
・Severe/警告: 警告レベルのトラップが送信されます。 例)無停電電源装置(UPS)故障、バッテリロー等
⑤ 説明
送付先に関しての情報を記載することができます。

［Pingによる監視設定］
① IPアドレス
UPSに接続している機器のIPアドレスを入力します。
② 接続機器名
UPSに接続している機器を識別・説明する任意の文字列を入力します。
③ シャットダウン動作
Pingの応答にエラーが発生した場合に、機器に対してスクリプトシャットダウン動作を実行するかどうかを個別に設定します。
④ Ping監視で異常とする台数
接続されている機器の内、何台にPingの応答エラーが発生すればシステムに異常があると判断するかを設定します。
⑤ UPS動作
Ping監視に異常が発生した場合のUPSの動作を設定します。出力停止、出力停止/出力再開、UPS停止、UPS停止/再起動、継続運転の5項目から選択できます。
※出力コンセントAで、UPS停止、UPS停止/再起動を選択すると、出力コンセントB、出力コンセントCもUPS停止に合わせ、出力を停止します。
⑥ 合格回数
試行されるPingテストの内、何回反応があれば合格とするかの回数を指定します。
⑦ 試験回数
1回のPingテストで、何回のPing信号を機器に対し送信するかの回数を指定します。
⑧ 送信間隔
Ping信号を何分に1回送信するかの時間を指定します。単位は分です。

［コマンド送信］
●メンテナンス等の場合に使用します。通常は使用しないで下さい。

［WakeOnLAN］
※注意　ご使用のPCによって、WakeOnLAN機能を使用できない場合があります。
① 送信回数
WakeOnLAN パケットの送信回数を設定します。
② 送信間隔(秒)
WakeOnLAN パケットの送信感覚を設定します。
③ WakeOnLAN 数
WakeOnLAN パケットの送信先の数を設定します。
④ MAC アドレス
WakeOnLANパケット送信時のMACアドレスを設定します。
⑤ 動作
WakeOnLANパケット送信時の受信先動作を設定します。
⑥ 説明
送信先の情報(コンピュータ名など)を設定します。

［スクリプトシャットダウン］
※注意　全ての機器をスクリプトでシャットダウン可能ではありません。本機能を使用する時は必ず事前動作確認を行なってください。
① スクリプトでシャットダウンしたい機器数
スクリプトを使用してシャットダウンしたいコンピュータの数を入力して「設定」ボタンを押してください。
② 接続機器名
スクリプトシャットダウンを実行したい機器を識別・説明する任意の文字列を入力します。
③ IP アドレス
スクリプトシャットダウンを実行したい機器の IP アドレスを入力します。
④ ユーザ名
スクリプトシャットダウンを実行したい機器のログインに有効なユーザ名を指定します。

⑤ パスワード

スクリプトシャットダウンを実行したい機器のログインに有効なパスワードを指定します。

⑥ リトライ回数

ログインに失敗した際の再試行の回数を任意で指定します。

⑦ タイムアウト

ログインの際のタイムアウト時間を任意で設定します。

⑧ コマンドライン

SC20G2 がシャットダウン動作を開始した際に実行するコマンドラインを指定します。「;」で区切ることで複数のコマンドを設定できます。

シャットダウンコマンド例:

【Windows】 shutdown -s -f

【Linux】 init 0

【Mac】 halt

【Unix】 shutdown -y -i0 -g10

⑨ プロトコル

SC20G2 の使用する通信方法を指定します。SSH、Telnet の2種類に対応しています。

⑩ 結果

スクリプトシャットダウンの結果が表示されます。

※SSHモードでスクリプトシャットダウンを行なう場合は、プロトコル設定をご確認ください。異なったプロトコルを設定すると、スクリプトによるシャットダウンは実行されません。

例) Linux/Mac/Unixを使用されている場合

/etc/ssh/sshd_configファイルを開き、下記のようにプロトコル設定を変更し、sshdを再起動してください。

変更前: Protocol2　　変更後: Protocol2,1 または Protocol1

［ユーザ機能制限］

① 管理者ID

管理者のIDを任意で設定します。(工場出荷時: “OMRON”)

② 管理者パスワード

管理者のパスワードを任意で設定します。(工場出荷時: “admin”)

③ 機能制限ユーザID

機能を制限したいユーザのIDを任意で設定します。

④ 機能制限パスワード

機能を制限したいユーザのパスワードを任意で設定します。

⑤ ユーザアカウントNo.の選択

具体的な機能制限の内容を設定したいユーザのNo.を指定します。

⑥ 機能制限設定(機能制限ユーザのみ)

各項目について有効/無効を選択します。

［CO2の設定］

① CO2の排出係数を任意で設定します。

(工場出荷時: 経済産業省・環境省令第3号に定める初期値 0.000555)

② CO2ログ

過去1ヵ月分のCO2ログが保存可能です。

③ 消去ボタン

画面上のログを消去します。

[Email設定]
① Mailサーバ
SMTP サーバのホスト名または IP アドレスを表示・設定します。ホスト名を入力したときは下段の DNS アドレスも入力する必要があります。
② User アカウント
メールサーバのユーザアカウントを表示・設定します。
③ User パスワード
メールサーバのパスワードを表示・設定します。
④ 送信元アドレス
メールに表示する送信者のアドレスを表示・設定です。
⑤ 件名
メールタイトルの先頭に付加する文字列を表示・設定します。
⑥ DNS アドレス
DNSのアドレスを表示・設定します。
⑦ Mailデイリーレポート送信時刻(hh:mm)
SNMP/Webカードから毎日のステータスレポートを送信する場合はここに送信時刻を設定します。
⑧ 送信先アドレス
メール通知先のアドレスです。
⑨ 説明
送信先に関する情報をメモとして記載しておくことが可能です。
⑩ 送信内容
送信する内容を送信先ごとに以下の4項目から設定が可能です。
・無し:送信しません。
・イベント:発生イベントに関する情報だけが送信されます。
・ステータス:SNMP/Webカードに保存された、データログとイベントログの内容がcsv形式で添付ファイルとして送信されます。
・イベント/ステータス:上記のイベントとステータスの双方が送信されます。
⑪ 情報レベル
送信する情報の重要度の設定が可能です。 以下から選択して設定します。
[Informational/情報]、[Warning/注意]、[Severe/警告]

[リンク]

① 表示名称
この欄に記載の名称が、画面左側のリンクの下に表示されます。
② リンクアドレス
リンク先の URL を表示・設定します。
③ ステータス
リンク表示の有効・無効を設定します。

●[ログ] メニュー
5種類のログをタイプ別に表示します。
① [UPSデータログ]
無停電電源装置(UPS)の基本的な動作状態(入出力電圧、接続容量など)のログです。ログの内容は、データ取得を行なった瞬間の動作パラメータになります。
取得の時間間隔は、[SNMP/Webカード管理]－[SNMP/Webカード設定]画面で設定可能です。
② [UPS拡張データログ]
無停電電源装置(UPS)の一定時間の動作状態をまとめたログです。
それぞれのパラメータに関して一定時間の最大、最小、平均値のログをとります。
取得の時間間隔は、[SNMP/Webカード管理]－[SNMP/Webカード設定]画面で設定可能です。
③ [UPSイベントログ]
無停電電源装置(UPS)上で発生したイベントを順次記録します。
④ 「UPS情報ログ」

無停電電源装置(UPS)上の情報を順次記録します。

⑤ [SNMP/Webカードイベントログ] メニュー

SNMP/Webカードのイベントのすべてが一覧で表示されます。

●[ログの保存・消去] メニュー

データのダウンロードや消去が可能です。

このメニュー画面からSNMP/WebカードのログファイルをCSV形式で保存できます。

① ログデータの消去

管理者が特定ログデータを消去する場合は、対象データの横にチェックを付けた後、[消去]をクリックしてください。

② ログデータの保存

下の各ログデータをクリックすると、ログデータがCSV形式でコンピュータにダウンロードされます。

”保存後、カード上のログを消去するか”の選択を事前に行なってください。

※ご注意 [保存後、対応するログデータをSNMP/Webカード上から消去する]が[はい]に設定されている状態で、各ログデータへのリンクのいずれか1つが1度でもクリックされた場合は対応するログデータが削除されます。

4) SNMPによる管理

① SNMP/Webカードのアクセス制御

SNMP環境でSNMP/Webカードを使用する場合、あらかじめSNMP/WebカードのIPアドレスおよびゲートウェイの設定を適切に行なってください。

SNMP/Webカードのセキュリティレベルを上げるために、アクセス制御を行なうことをおすすめします。アクセス制御はWeb画面上の「アクセス制御」、Telnet／シリアル接続の「HTTP Security Control」、「Access Control Table」から設定が可能です。

② SNMPトラップ送信先の設定

SNMP トラップ送信先を設定するには、[SNMP/Web カード管理]メニューから実行できます。

③ MIBファイルのインストール

製品に同梱のCD-ROM 「MIB」フォルダ内のファイル「Swc. mib」をSNMPマネージャのMIBデータベースに追加してください。

④ コミュニティの設定

以下の通り設定してください。

ストリング名	パスワード名
GETコミュニティ	public
SETコミュニティ	admin (初期値)

注: 以上のコミュニティは初期値です。変更した場合は変更内容に従って設定してください。

5) 無停電電源装置(UPS)の電源管理

SNMP/Webカードの電源はUPSとUPSへのAC入力の状態等により、以下の通りとなります。

① 通常時の電源状態

UPSへのAC入力 / UPSの電源	Off （AC入力なし）	On （AC入力有り）
Off	SNMP/WebカードOff	SNMP/WebカードOn
On	SNMP/WebカードOn	SNMP/WebカードOn

② シャットダウン時などの電源状態.

・スケジュール運転時等

No.	状態	UPSへのAC入力	UPSの電源	SNMP/Webカードの電源
1	Webの画面上からUPSの即時停止	On	Off	SNMP/Webカード On

2	スケジュール運転でUPS停止	On	Off	SNMP/Webカード On
3	スケジュール運転で電源停止後にAC入力 OFF	Off	Off	SNMP/Webカード Off(*1)
4	3の状態の後にAC入力復旧	On	Off	SNMP/Webカード Off
5	4の状態の後にスケジュール運転でUPS起動	On	On	SNMP/Webカード On

*1: スケジュール運転で無停電電源装置(UPS)を停止し、更にAC入力がOffになった場合、SNMP/Webカードへの電力供給は停止しますが、スケジュール設定は有効で、スケジュール通りにUPSは起動します。

・電源障害等によるUPS停止時

No.	状態	UPSへのAC入力	UPSの電源	SNMP/Webカードの電源
1	電源障害でUPS停止後	Off	Off	SNMP/Webカード Off
2	電源障害でUPS停止後にAC入力が復旧 電源復旧時の再起動:“しない”に設定時	On	Off	SNMP/Webカード Off
3	電源障害でUPS停止後にAC入力が復旧 電源復旧時の再起動:“する”に設定時	On	On	SNMP/WebカードOn

注:「SNMP/WebカードOff」時はカードとの通信は出来ません。

6)シャットダウン動作例

シャットダウンソフトウェアをインストールした場合のシャットダウン動作例を記載します。

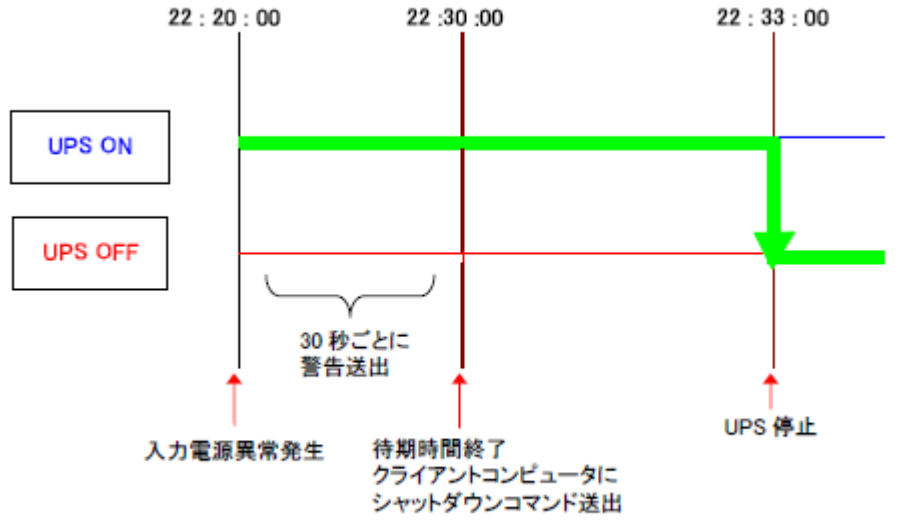
① 電源異常状態時のシャットダウン

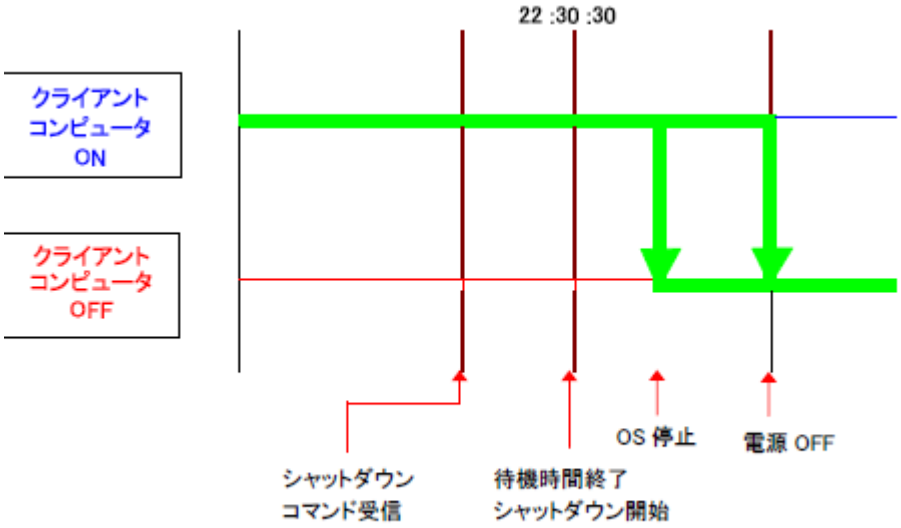
SNMP/Webカードは、「入力電源異常」、「バッテリロー」、「接続容量オーバ」、「温度上昇」の4種類の異常状態を想定しています。 以下の条件下でのシーケンスを例示します。

動作	:クライアントシャットダウン／UPS停止
待機時間(Min)	:10(初期値)
初回警告(Sec)	:30(初期値)
警告間隔(Sec)	:30(初期値)
UPS停止までの待ち時間(Sec)	:180(初期値)
入力電源異常の発生時刻	:22:20:00

クライアントコンピュータの設定条件

アプリケーションソフト終了に必要な時間　　:　30秒(初期値)





② 連携シャットダウンに関して

SNMP/Web カードを使用して、複数台の無停電電源装置(UPS)を連携してシャットダウンすることが可能です。連携動作をする際、１台がマスターUPS、他がスレーブ UPS になります。

マスターUPS はスレーブ UPS をクライアントとして管理します。

スレーブ UPS はマスターUPS からのシャットダウンコマンドを受け取ると UPS 停止動作に入ります。

以下の条件下でのシーケンスを例示します。

マスターUPSの設定条件

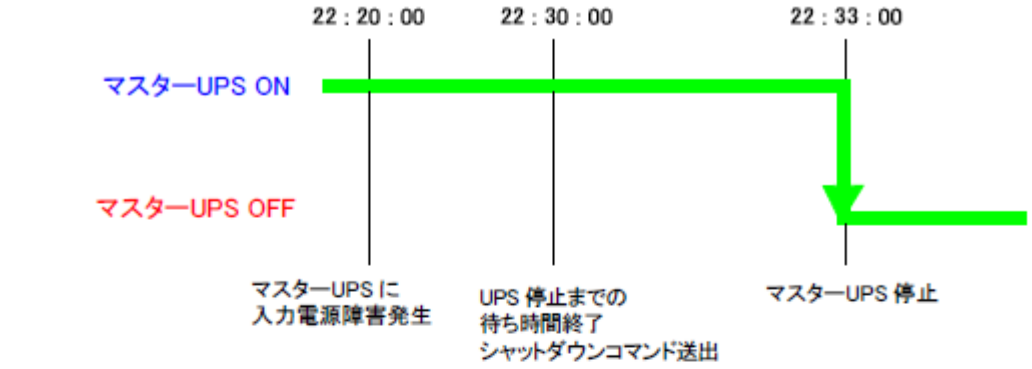
動作	:クライアントシャットダウン／UPS停止
待機時間(Min)	:10(初期値)
初回警告(Sec)	:30(初期値)
警告間隔(Sec)	:30(初期値)
UPS停止までの待ち時間(Sec)	:180(初期値)
電源障害発生	:22:20:00

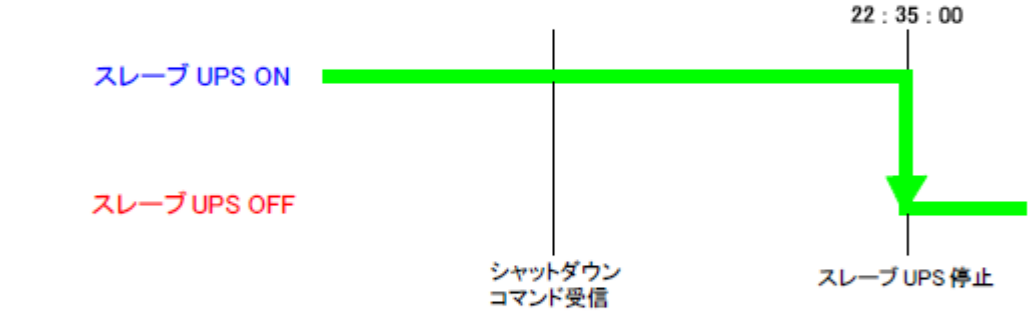
スレーブUPSの設定条件

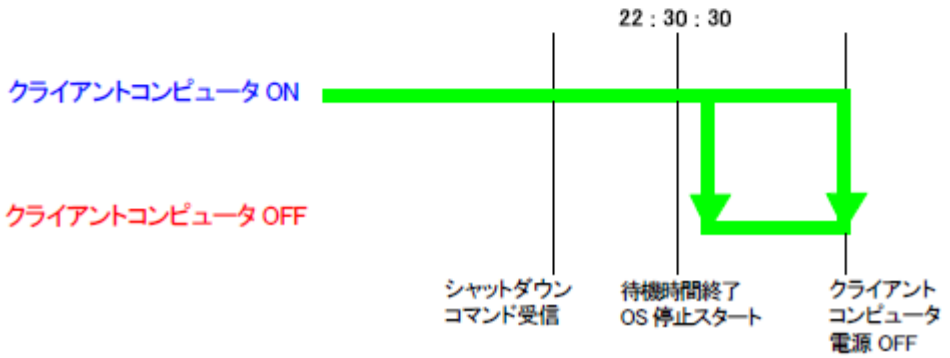
UPS停止までの待ち時間(Sec)	:300

クライアントコンピュータの設定条件

待機時間	:30秒

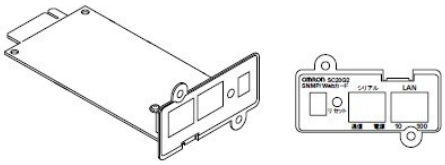




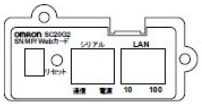


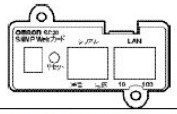
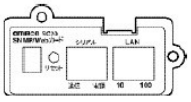
7．同梱品

1. SNMP/Web カード本体　1 個
(BU-SW シリーズ、BU-RW シリーズ、BN-S シリーズ、BU-REシリーズ、BN-Rシリーズ、BN-Tシリーズ ブラケット付き)



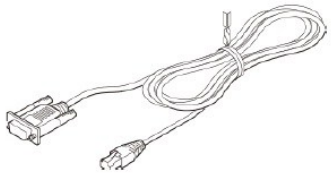
2. 交換用ブラケット　1 個



ブラケット		
対応型式	BU50SW/BU75SW/BU100SW/BU150SW, BU1002SW/BU3002SW, BU75RW/BU100RW/ BU200RW/BU300RW, BN50S/BN75S/ BN100S/BN150S/BN220S/BN300S/BU60RE/ BU100RE/BN75R/BN150R/BN300R/BN50T/ BN75T/BN100T/BN150T/BN220T/BN300T/ BU1002RW/BU2002RWL/BU3002RWL/ BU5002RWL	BN100XR/ BN150XR/ BN240XR

最新情報は当社ホームページをご覧ください。
(http://www.omron.co.jp/ese/ups)

3. シリアル接続ケーブル　1 本



4. CD-ROM　1 枚
(取扱説明書、自動シャットダウンソフト他)

5. インストールガイド(日本語・英語)　2 冊

6. 保証書(インストールガイドの巻末、日本語・英語)　2 枚

８．保証契約約款

はじめに

この保証契約約款（以下「本約款」）は、取扱説明書にしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず、「保証書」に記載した保証期間内において、製品（付属品等を除く）が故障した場合、本約款に明示した期間、条件の下において、「無償修理」を行なうことをお約束するものです。お客様が本約款の各条項にご同意いただけない場合は、製品を使用せずに販売店へご返却ください。

第1条　定義

本約款で使われる用語の定義は次の各号の通りとします。

①「保証書」とは製品名（商品名）や保証期間を予め記入した上で当社が無償修理を保証する旨を約したものをいいます。

②「製品」とは当社製品として梱包したもので本体部分（ACアダプタを含む）をいい、付属品等は除きます。

③「故障」とはお客様が取扱説明書、本体貼付ラベル等の記載事項に従った正常な使用状態で正常に機能しない状態をいいます。

④「無償修理」とは製品が保証期間内に故障した場合、当社が無償にて行う故障個所の修理をいいます。

⑤「有償修理」とは製品が保証期間外に故障した場合、お客様に費用を負担していただいて当社が行なう故障箇所の修理をいいます。

第2条　保証期間

保証期間は、購入日より製品に同梱されている保証書に記載されている期日までとします。
ただし、購入日及び販売店の署名または押印等が記載されていることを条件とします。

第3条　保証の範囲

3-1 保証の範囲は、本製品の修理、交換または同等機能の製品との代替交換に限ります。

3-2 当社の保証範囲は前記(3-1)記載をもって全てとし、故障によってお客様に生じた損害（事業利益の損失、事業中断、情報の損失またはその他の金銭的損害を含むが、こられに限定されない）については、法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても当社は一切の責任を負わないものといたします。

第4条　修理

4-1 製品に故障が生じた場合、お客様が当該製品を当社指定の修理受付窓口に送付することにより、当社が修理を行い、修理完了後にお客様の指定する場所（日本国内に限る）に発送するものとします。
なお、送料は、無償及び有償修理ともお客様から送付いただく場合はお客様のご負担（元払い）となります。修理後の送料は当社にて負担いたします。

4-2 当社は、本製品の修理に変えて当社の判断にて、本製品と同機種の交換または同等機能の製品との代替交換ができるものとします。

4-3 当社は本製品の修理を実施するにあたり、パーツ交換（ボード、モジュールを含む）によって修理を行なうことができるものとし、交換された旧パーツは当社の新パーツはお客様所有の財産となります。なお、パーツ交換に代えて同機種または同等機能製品と交換した場合も交換対象の製品は当社の、代替製品はお客様の所有の財産となります。

第5条　保証の不適用

保証期間内であっても、以下の場合は無償修理の対象外とさせていただきます。

5-1 使用上の誤り、及び当社の事前承諾なしになされた修理、改造や付加による故障、及び損傷。

5-2 お買い上げ後の落下、取扱いの不注意などによる故障、及び損傷。

5-3 火災・地震・風水害・落雷及びその他の天災地変、公害、塩害、及び通常基準を超える異常な物理的もしくは電気的負担が加えられたことによる故障、及び損傷。

5-4 修理依頼の際、保証書のご掲示をいただけない場合。及び以下の各号に該当する場合。
①保証書の有効期限が終了している場合。
②保証対象物件の形式・製造番号が修理を行なう物件のそれと一致しない場合。
③保証書の内容を明らかに改ざんしたと思われる場合。
④保証書に、所定記入事項（お買い上げ年月日、お客様名、販売店名）の記入のない場合、あるいは字句を不当に書き換えられた場合。

5-5 消耗部品、自然劣化により故障したもの。ただし、個別に保証契約を締結するか、または個別に保証の範囲を定めている場合はその個別の契約または定めに従うものとする。

5-6 故障の原因が本製品以外に起因する場合。

第6条 準拠法
本約款の解釈は日本国の法令が適用されるものとします。

第7条 裁判管轄
本約款に関する訴訟の第一合意管轄裁判所は京都地方裁判所とします。

第8条 有効範囲
本約款は、使用可能国にて発生した故障の場合のみ有効とします。

９．安全上のご注意

本文章の安全についての記号と意味は以下の通りです。

⚠ 注　意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損傷の発生が想定される内容を示します。

※物的損傷とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

：禁止（してはいけないこと）を示します。例えば は分解禁止を意味しています。

：強制（必ずしなければならないこと）を示します。例えば はアースの接続が必要であることを意味しています。

⚠ 注　意

本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ず無停電電源装置（UPS）本体と接続機器の電源を切り、「AC　入力」プラグを電源コンセントから抜いた状態で行なうこと。
・感電の恐れがあります。

本製品の分解、改造、修理をしないこと。
・感電したり、火災を起こす危険があります。

無停電電源装置（UPS）に本製品の取り付け、取りはずしをおこなうときは、無停電電源装置（UPS）を安定した場所および転倒しない向きに設置して行なうこと。
・転倒や落下によりけがをすることがあります。

本製品を取り付けるUPSには、確実にアース接続（接地）を行なうこと。
・UPSのアース端子をアースに接続してください。アースを接続せずに他の機器とUPSに同時に触れると感電することがあります。

本製品の取り付け、取りはずしのときは、基板端子、基板上の部品に触れないこと。
・基板端子や部品は鋭利なため、触れるとけがをすることがあります。
・部品が高温になっていると火傷をする恐れがあります。
・本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。特にコネクタの接点ポートその他の部品に素手で触れないでください。

内部基板上に液体があっても、液体にさわらないこと。
・このような状態になったら絶対に使用せず、お買い求めの販売店あるいは当社に点検・修理を依頼してください。修理についてはカスタマサポートセンタ(TEL: 0120-77-4717)へご相談ください。
・失明したり火傷をする恐れがあります。
・目や皮膚に付着したら、すぐに大量の清潔な水で洗い流し、医師の診察を受けてください。

	本製品から煙、異臭、異常音が発生した場合は接続のUPSの電源スイッチを切り、AC100Vプラグを電源コンセントから抜くこと。 ・このような状態になったら絶対に使用せず、お買い求めの販売店あるいは当社に点検・修理を依頼してください。
	本説明書に記載されている使用条件・環境および使用するUPSの使用条件・環境を守ること。機器が故障することがあります。
	電池を取りはずして乳幼児の手の届くところに置かないこと。 ・乳幼児が飲み込む危険があります。
	電池を他の用途に使用しないこと。 火中に投入や、分解、加熱などしないこと。 ・破裂・火災を起こす危険があります。
	電池の＋とーを針金などでショートしないこと。 ・発熱・火災を起こす危険があります。
	濡らしたり、水をかけたりしないこと. . ・感電したり、火災を起こすことがあります。 ・水に濡らした場合はすぐに本製品の使用を中止し、点検・修理を依頼してください。
	直射日光の強いところや、高温になるところに放置しないこと。 ・電池が高温になり、破裂・火災を起こす危険があります。

免責事項について

当社製品の使用に起因する事故であっても、装置・接続機器・ソフトウェアの異常、故障に対する損害、その他二次的な損害を含むすべての損害の保証には応じかねます。

ご使用にあたってのお願い

廃棄方法は、地方自治体の条例等や指導に従って正しく処理してください。

本製品の輸出について

本製品を海外に持ち出される(輸出する)場合は、当社カスタマサポートセンタ(TEL: 0120-77-4717)にお問い合わせ下さい。また該非判定資料の発行をご希望の際は、当社ホームページまでお申し込みください。 (http://www.omron.co.jp/ese/ups/support/export.html)
お問い合わせの際、本製品の製造番号が必要です。製造番号(S/N)は、梱包箱側面または本体基盤裏面に貼付のシールに記載しております。

OMRON